

やまがた市 やまとう

令和4年
10月号
たより

Vol.
174

困ったときは、おたがいさま



支え合う人たちがいる♪

ひとりひとりの小さなお金。そのお金に「誰かの助けになりたい」という気持ちがこもって十人、百人、千人と集まれば、大きな力に変わります。赤い羽根は、小さなことをしています。小さな活動をたくさん、何十年と続けています。つまり、赤い羽根は、大きなことをしています。

意志あるお金、募金のチカラ。

赤い羽根共同募金



共同募金は「計画募金」

その流れをご紹介します。

STEP 1

4月～8月頃

地域の福祉活動を行う（行いたい）団体・組織が次年度の活動計画と配分申請を提出します。（県共同募金会へ）

前年度

当年度

STEP 2

STEP1で申請された合計額を基に県共同募金会にて県の募金目標額を決定します。この額に基づき、市の目標額を定めます。

令和4年度

山形市目標額	31,895,000 円
歳末たすけあい	8,890,000 円

STEP 3

募金運動開始 !!

10月1日より、目標額を目指して募金に取り組みます。

地域募金	町内会など地域で集める
特別募金	<ul style="list-style-type: none"> 学校や企業、団体から集める イベント募金で集める 自動販売機やスマートフォン 街頭にて呼びかけなど

当年度

(翌年4月1日以降) 翌年度

STEP 4

配分額の決定 !!

ご協力いただいた募金は、県共同募金会に集められ、県全体の募金額と申請された計画額に基づき、各市町村地域の事業実施団体への配分額が決定・交付されます。

STEP 1

の事業開始 !!

スマホからも、
募金できます。



スマートフォンでの
募金が可能です。
左記QRコードを読み込
み、必要事項を入力し、募
金期間は、厚生労働
大臣の告示により10月1
日～翌年3月31日までの
6か月間と定められてお
ります。

スマートフォンでの
募金が可能です。
左記QRコードを読み込
み、必要事項を入力し、募
金期間は、厚生労働
大臣の告示により10月1
日～翌年3月31日までの
6か月間と定められてお
ります。

スマートフォンでの
募金が可能です。
左記QRコードを読み込
み、必要事項を入力し、募
金期間は、厚生労働
大臣の告示により10月1
日～翌年3月31日までの
6か月間と定められてお
ります。

スマートフォンでの
募金が可能です。
左記QRコードを読み込
み、必要事項を入力し、募
金期間は、厚生労働
大臣の告示により10月1
日～翌年3月31日までの
6か月間と定められてお
ります。

あなたの募金で山形をより良い町へ

赤い羽根共同募金

今年もみなさまのご協力を
お願いいたします。

赤い羽根共同募金活動は、みんなの優しい気持ちを集める活動です。その集まつた優しい気持ちは、身近な地域の福祉活動を応援しています。地域の人暮らしの高齢者が集まる場を作ったり、障がい者が働く施設を運営したり、子ども達が笑顔いっぱいに暮らすための環境を整えたり、みんなの身近な場所で募金が役立てられることが特徴です。

みんなの優しさ、声かけ、行動一つ一つが、町を変えていく『はじめの一歩』となります。山形で暮らす全ての人があふだんのくらしをしあわせに感じられる優しい町になりますように。

共同募金運動は

お願いいたします。

令和3年度 山形市募金総額

思い思いの優しさが

赤い羽根
共同募金報告

総額**43,152,195円**になりました。

(共同募金 34,261,710円 歳末たすけあい 8,890,485円)

令和4年度、山形市内でこのような活動に使われています。

山形市には、36,644,175円 (共同募金 29,403,489円、歳末たすけあい 7,240,686円) が配分されました。

福祉団体の事業の
推進のために

12,098,000円

福祉団体・更生保護事業・社協の広報
事業・児童養護施設入所児童への卒業
祝い金贈呈事業などに活用されています。

ご協力
ありがとうございました。
今年もよろしく
お願いします。



歳末たすけあい運動
戸別世帯への支援として

7,240,686円

在宅高齢者世帯、父子・母子世帯、障
がい児者世帯、地域の見守り強化事業な
どに活用されています。

身近な
地域福祉のために

17,305,489円

地域や福祉団体・学童クラブ等
の機器・遊具等備品整備費、ふれ
あいいきいきサロン活動・福祉教
育校指定事業などに活用されて
います。

街頭募金ボランティア募集!!

毎年多くのボランティアが募金活動に協力してくださっています。今年度は市内一斉の街頭募金を行いませんが、希望があれば活動を行うことが可能です。また、ポスター掲示の協力者も募集しています。10月以降イベント等企画されている団体様で、共同募金の実施とコラボしてくださる方など、興味のある方はボランティアセンターへご連絡下さい。

TEL 023-645-9233

赤い羽根共同募金はこんなふうに使われています

募金は障がい者小規模作業所や学童保育所の備品設備などの費用、地域福祉や在宅福祉のための事業などに使われています。

たくさんの「ありがとう」の中から一部をご紹介します。

山寺地区

山寺かじの木子どもクラブ 「学習用長机、記録用デジタルカメラ等の購入」

長机は、学習やおやつ、遊びの時などいつも活用しています。デジタルカメラは、記録用のみでなく、保護者の方へ子どもの成育を伝える事にも役立っています。



古くなったり、壊れたりして、いたのでとても助かりました。保育の中で活用していきます。本当にありがとうございました。

ありがとうございます

まえのつくえ
は、足がグラグラ
して、いたけれど、
今のつくえは、か
るくて、いよいよ
使いやすいです。

ありがとうございます

楯山地区

たてやまっ子クラブB組 「一輪車及び竹馬他遊具の購入」

利用児童が増え、遊具不足が続いているが子ども達が取りあうことなく、遊べるようになりました。特に竹馬は、身長に合わせて利用でき、喜んでいます。



たくさんのお遊具を寄付してください、ありがとうございます。おかげで放課後時間子ども達はになりました。

ありがとうございます

鈴川地区

学童保育第3どんぐりクラブ 「ランドセル棚の設置」

利用児童の増加により、ロッカーが不足していたため、ランドセル棚を設置しました。空きスペースに合わせて製作したため、保育スペースも今まで通り確保でき、子ども達は楽しく生活できています。



子ども達みんな、ロッカーにランドセルを入れることができ、大変喜んでいます!!

ありがとうございます



「地域支え合い推進事業 けんこうクラブ事業」



地域住民の高齢化が進行する中、健 康増進、認知症の理解と対応が喫緊の課題です。コロナ感染症拡大の影響で内容を変更して開催しました。特に徘徊認知症高齢者への対応について、実際の通報訓練体験や声かけ体験を通して、声かけポイントを理解でき、抵抗感を減らせたという声が多くありました。これからも、実践や訓練を伴つた研修を計画していきたいと思います。

地域と生徒たちがつながる事を目的に、長年3年生がレターボランティアに取り組んでいます。「部活頑張っています。」「もうすぐテストがあるのです、勉強をしています。」など、自分達の言葉で思いを伝えました。

お手紙を書きながら「あっ！いつも学校に行くとき声をかけてくれるおばあちゃんだ！」「喜んでくれるかな？」「返事来るかな？」など、受け取って下さる方を思い描きながら取り組んでいた姿が印象的でした。

第七中では、1・2年生の時にお花を届けるフラワーボランティアを行っており、3年間通して地域と繋がった活動を行うことで、より深い顔の見える関係を築いています。

地域の方との繋がりも強くなり、登下校中に「この前手紙もらつたよ。」と声をかけてくれる方もおりました。生徒たちもとても嬉しそうにその時の事を話してくれます。地域の方たちに見守つてもらい、支えてもらいながら成長しているのが実感できる活動です。

山形市立第七中学校 「レターボランティアで 地域とつながろう」



「被災地に笑顔を取り戻すために・・・」

令和4年8月3日に発生した山形県大雨災害の被災地である飯豊町災害ボランティアセンターに職員を派遣し、センター運営の支援にあたりました。

また、山形市内からも多く個人ボランティアの方々が復興活動に参加してくださいました。

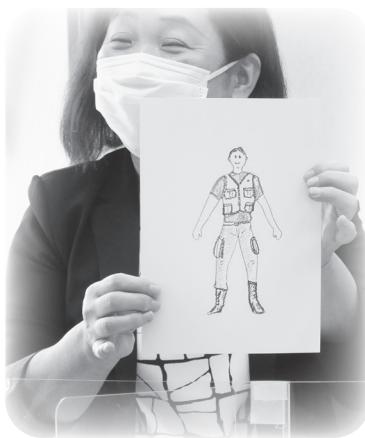
県内だけではなく、国内で起きる様々な災害復興にも、この募金は使われています。



第36回 ボランティアスクール

～傾聴講座～

を開講しました



色を自由に使って自己紹介をしてみましょう



手作りのマラカスを手に花笠音頭♪



高齢者になりきって、
お散歩



車いすで坂道を
登りました



相手と息を合わせて『ペンダンス』

講座を通して、相手の心に寄り添い、耳を傾けて話を聞くこと、みんな自分と同じように考えているとは限らない。心の器を大きくして、それぞれの違いを楽しむ」との大切さを学びました。

今後、身近な地域や福祉施設などで、優しい気持ちを分けて、ひとりひとりのよき理解者（サポーター）となつて活躍してくれる」とを願っています。

令和4年5月31日～7月20日までの毎週水曜日、全8回にわたつて開催しました。たくさんの応募をいただいた中から、抽選で20名の方が受講しました。色彩心理学では、自分を色で表現してみたり、音楽療法や車いす操作の体験をしたり、高齢者や知的障がい、発達障がいのある方たちを理解するための疑似体験をしたりしました。

テーマ
「多様な扱い手で地域を紡ぐ」
新型コロナ感染予防対策のため、次の2つの方で受講できます。

①会場参加 ②オンライン参加

日 時 令和4年10月31日（月）午前10時00分～午後4時30分

会 場 山形市総合福祉センター3階
会議研修室1

内 容

地域課題を解決するために多様な機関や個人とつながつて活動していくためのポイントを学ぶ

対 象

地域福祉活動に興味のある方、地区協役員・ボランティア活動に関心のある方

参 加 費

無料

募 集 人 数

会場参加定員60名、
オンライン参加定員50名
※定員になり次第締め切りとなります。

申 込 切

令和4年10月7日（金）

申 込 方 法

①会場参加…電話
TEL 023-645-8061
②オンライン参加…メール
(担当:阿部)

sc6@yamagatashishakyo.or.jp

福
祉
学
校

参加者募集!

ボランティア交流会

ボランティア活動についての情報交換や活動している方々と交流してみませんか?

日時

令和4年11月7日（月）

第一部 午前10時～11時30分
第二部 午後2時～4時00分

会場

山形市総合福祉センター

対象者

第一部

日頃ボランティア活動をしている方、ボランティアを募集したい方、ボランティア活動に興味のある方など

第二部

社会貢献をしている、これからしたいと考えている企業や団体の方

内容

情報交換、交流、ボランティア相談、ワークショップ等

参加費

無料

申込締切

令和4年10月31日（月）
午後5時まで

申込方法

電話もしくはFAX、メール
TEL 023-645-9233
FAX 023-645-8015
メール voravora@yamagata-shishkyo.or.jp

老眼鏡プレゼント

山形市善意銀行に株式会社メガネの相沢エスパル山形店様から、老眼鏡の寄贈を頂きました。

ご自分の視力に合わせた老眼鏡を作成することがで

きます。

ただし、直接、株式会社メガネの相沢エスパル山形店（山形市香澄町一丁目一番一号エスパル山形5階）まで行ける方に限ります。

山形市在住の75歳以上の方で、店舗に

11月30日（水）まで行くことが可能な方。

受取 対象者 厳正なる抽選で30名の方

申込方法 ボランティアセンターへ電話
TEL 023-645-9233

申込締切 令和4年10月20日（木）午後4時まで

抽選日 令和4年10月21日（金）

お申込みの皆様すべてに結果を郵送いたします。

第67回 山形市民総合社会福祉大会

今年度の大会は、新型コロナウイルス感染症感染予防の観点により、規模を縮小し短時間での開催を実施するため、表彰者のみの参加で開催いたします。

寄付および賛助会員の募集

● 現金預託	山形市善意銀行	● 協同組合	● (株)二ラク吉原店
● 物資・労力	・さらやか銀行中央営業部さらやか会	・山形県遊技業協同組合	・(株)ダイナム山形店
● スーパー1円劇場山形店	・匿名(2件)	・台南市政府都市	・連盟山形支部
● (株)アイランド	・澤野汐音	・野崎孝男	・山形県火災共済
1円劇場上山店	・二戸淳子	・大豆田理加	・(株)クリーンシステム
	・匿名(11件)	・金井訓子	・山形県退職公務員
		・(株)STUDY.Pro	・(株)二ラク吉原店
			(敬称略・順不同)

やさしいきもちを ありがとう寄附者紹介

みなさんからのご厚志に対し、心より厚く御礼申し上げます。ご寄附につきまして、令和4年6月1日から令和4年8月31日までの分を掲載いたします。

恐れ入りますが、次の連絡先までご連絡ください。必要な手続きをお伝えします。

ご協力くださいますようお願い申し上げます。

ご理解・ご協力くださいますようお願い申し上げます。

TEL 023-645-8015

しゃきょうだより

市民の皆様から
いたいた声を、

ひとつひとつ大切に。

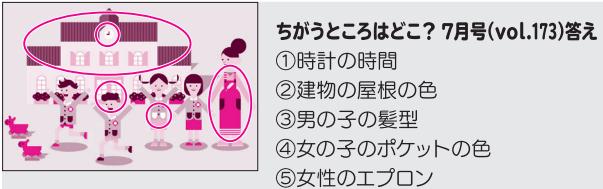
10月

たくさんの感想をいただきました!
その一部をご紹介します!

- 子どもたちが小さかった頃、転勤先の知らない土地で孤独で不安でした。開放している児童センターを見つけ同じ境遇の親子と悩みを共有し、ずいぶん助けられました。その頃のママ友とは離れて年賀状のやり取りは続いています。そういう機会や場所はとても大事。それは高齢者の方たちにも当てはあると思います。お互いが程よい距離感で支え合えるといいですね。(50代)
- 今までは自分にあまり関係しないものとして認識していた福祉ですが、高齢の方や障がいのある方だけでなく生活するなかで身近に福祉があるのだとかなりました。(40代)
- 福祉協力員さんに感謝してます。(70代)
- 「寄り添う」せどても素敵な言葉です。その人の事を想つて、その人の立場に立つて一緒に考えて、一緒に想いを共有ですね。人にしかできない行為だと思います。(60代)
- 「わがわいじいのせうじー」は小団のわいわい探すじゅうじゅく、親子の時間が出来て楽しんでる。(40代)

ちがうところはどこ?

上と下の絵で5つのちがうところをさがしてね!



クイズに答えて Present
プレゼント!

山形市総合福祉センター
「かすみが温泉」
利用券(4名分)
抽選で20名様

クイズ: 本文中の を集めてならびかえると
できあがる言葉は?



●応募方法/クイズの答えと必要事項を記入し、ハガキまたはメールでご応募ください。当選は発送をもってかえさせていただきます。

●宛先/〒990-0832 山形市城西町二丁目 2-22
社会福祉法人
山形市社会福祉協議会あて



応募フォームは
こちらから→
voravora@yamagatashishakyo.or.jp

●締切/令和4年10月31日(月)(当日消印有効)

①クイズの答え ②住所 ③氏名 ④年齢
⑤電話番号 ⑥「しゃきょうだより」の感想

よりそい

に帶に向けて、
こよりそい

7月号(Vol.173)クイズの答え
『よりそい』



愛ちゃんと希望くん。

社協(しゃきょう)は社会福祉協議会の略称です。この広報紙は赤い羽根共同募金の配分金で年4回、山形市社協から福祉情報をお届けしています。次回は1月号です。